

公立病院経営強化プランの 策定について

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室

電話番号 : 043-223-2457 メール : chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp

R4.3.29付け「公立病院経営強化の推進について（通知）」



「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」の概要

第1 公立病院経営強化の必要性

- 公立病院は、これまで再編・ネットワーク化、経営形態の見直しなどに取り組んできたが、**医師・看護師等の不足**、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、依然として、**持続可能な経営を確保しきれない病院も多い**のが実態。
- また、コロナ対応に公立病院が中核的な役割を果たし、**感染症拡大時の対応における公立病院の果たす役割**の重要性が改めて認識されるとともに、病院間の役割分担の明確化・最適化や医師・看護師等の確保などの取組を平時から進めておく必要性が浮き彫りとなった。
- 今後、**医師の時間外労働規制への対応**も迫られるなど、さらに厳しい状況が見込まれる。
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、**限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し**、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、**公立病院の経営を強化していくことが重要**。

第2 地方公共団体における公立病院経営強化プランの策定

- 策定期間 令和4年度又は令和5年度中に策定
- プランの期間 策定年度又はその次年度～令和9年度を標準
- プランの内容 **持続可能な地域医療提供体制を確保**するため、地域の実情を踏まえつつ、必要な**経営強化の取組**を記載

公立病院経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・ **機能分化・連携強化**

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ **医師・看護師等の確保**（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）
- ・ 医師の**働き方改革**への対応

(3) 経営形態の見直し

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・ デジタル化への対応

(6) 経営の効率化等

- ・ 経営指標に係る数値目標

第3 都道府県の役割・責任の強化

- 都道府県が、市町村のプラン策定や公立病院の施設の新設・建替等にあたり、地域医療構想との整合性等について積極的に助言。
- 医療資源が比較的充実した**都道府県立病院等が、中小規模の公立病院等との連携・支援を強化**していくことが重要。

第4 経営強化プランの策定・点検・評価・公表

- 病院事業担当部局だけでなく、企画・財政担当部局や医療政策担当部局など関係部局が連携して策定。関係者と丁寧に意見交換するとともに、策定段階から議会、住民に適切に説明。
- 概ね年1回以上点検・評価を行い、その結果を公表するとともに、必要に応じ、プランを改定。

第5 財政措置

- **機能分化・連携強化**に伴う施設整備等に係る病院事業債（特別分）や**医師派遣**に係る特別交付税措置を**拡充**。



千葉

- ・千葉県がんセンター
- ・千葉県総合救急災害医療センター
- ・千葉県こども病院
- ・千葉市立青葉病院
- ・千葉市立海浜病院

東葛南部

- ・船橋市立医療センター

東葛北部

- ・松戸市立総合医療センター
- ・柏市立柏病院

香取海匝

- ・千葉県立佐原病院
- ・銚子市立病院
- ・国保匝瑳市民病院
- ・香取おみがわ医療センター
- ・国保多古中央病院
- ・東庄町国民健康保険東庄病院
- ・総合病院国保旭中央病院

山武長生夷隅

- ・大網白里市立国保大網病院
- ・東陽病院
- ・さんむ医療センター
- ・東千葉メディカルセンター
- ・いすみ医療センター
- ・公立長生病院

安房

- ・鴨川市立国保病院
- ・南房総市立富山国保病院
- ・鋸南町国民健康保険鋸南病院

君津

- ◎ 国保直営総合病院君津中央病院
- ◎ 国保直営君津中央病院大佐和分院

市原

- ・千葉県循環器病センター

※各圏域における並順は、総務省の「決算統計における地方公共団体コード、施設コード」順による。

※経営強化プランの策定対象である「公立病院」とは、「地方公営企業法が適用される病院及び公営企業型地方独立行政法人が運営する病院」を指す。



「地域医療構想の進め方について」

令和4年3月24日付け 医政発0324第6号（厚生労働省医政局長 → 都道府県知事）

- 公立病院については、病院ごとに「公立病院経営強化プラン」を具体的対応方針として策定した上で、地域医療構想調整会議において協議する。

「公立病院経営強化の推進について」

令和4年3月29日付け総財準第72号（総務省自治財政局長→都道府県知事 等）

- 経営強化プランは、「地域医療構想の進め方について」（令和4年3月24日付け厚生労働省医政局長通知）により、当該公立病院の地域医療構想に係る具体的対応方針として位置付けることとされていることも踏まえ、地域医療構想と整合的であることが求められる。
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、個々の公立病院が地域医療構想等を踏まえて、地域において果たすべき役割・機能を改めて見直し、明確化・最適化することが重要である。
- 当該公立病院の将来の病床機能のあり方は、構想区域における病床の機能区分ごとの将来の必要病床数と整合性のとれた形でなければならない。このため、地域医療構想における推計年である令和7年（2025年）及び経営強化プランの対象期間の最終年度における当該公立病院の機能ごとの病床数や、病床機能の見直しを行う場合はその概要を記載する。
- 既存施設の長寿命化等の対策を適切に講じた上で、なお新設・建替等が必要となる場合には、地域医療構想等との整合性を図った当該公立病院の役割・機能や規模等を記載する。



- **国から、R5年度末までに、調整会議で協議を実施のうえ策定することが要請された。**
- **本県では対象の全公立病院について、R5年度の調整会議で協議を実施済**



- 以下の2医療機関では、令和5年度に公立病院経営強化プランの協議を実施のうえ、当該プランの策定を行っているところです。
- 本年度、新たなプランを策定することとしているため、現在策定を進めている「公立病院経営強化プラン（案）」の概要について説明のうえ、御意見を伺います。

・ 国保直営総合病院君津中央病院

・ 国保直営君津中央病院大佐和分院

公立病院経営強化プラン(当該病院の果たすべき役割・機能等)の概要

別添様式1

施設名	国保直営総合病院君津中央病院												
所在地	千葉県木更津市桜井1010												
許可病床数 (床)		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計						
	開設許可	636	0	0	18	6	660						
	使用許可	636	0	0	18	6	660						
機能別病床数(床)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計						
	R7.7.1時点※1	272	344	20	0	0	636						
	R_年見込み※2						0						
※1 令和7年度病床機能報告で報告した令和7年7月1日時点の機能別病床数を記載。 ※2 R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載													
2025年以降において担う役割		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	その他
	R7.7.1時点※1	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
	R_年見込み※2												
その他の内訳及び補足等													
※1 令和7年7月1日現在の担っている役割を記載。 ※2 R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載。													
地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	<p>急性期病院として君津医療圏の基幹・中核病院としての役割を担っています。高度専門医療並びに救急、周産期、小児、災害及び新興感染症等の採算性の確保が難しく、民間医療機関による提供が困難な医療を担い、また、地域の医療機関と連携を図り、量的に不足している医療を提供し、地域の医療水準の維持・向上に努める役割を果たしています。特に、救急医療については、地域において二次輪番制度を維持することが極めて困難な危機的状況であることから、公立病院の果たすべき使命として、地域の救急医療体制を下支えしているのが現状です。</p> <p>しかしながら、急性期治療後の患者の転院調整や高齢者救急への対応増加により、本来担うべき高度急性期機能との乖離が生じつつあり、将来的には医療機能の低下や地域医療体制全体への影響が懸念される状況となっています。今後の方向性については、地域ニーズ、財政状況、人材確保の見通しを踏まえて総合的に検討する必要があります。</p>												
※経営強化プランの記載内容を記入													
地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、急性期から回復期、在宅医療に至るまで一連のサービスを切れ目なく提供するために、本院は、地域医療支援病院・紹介受診重点医療機関として、地域の医療機関からの紹介患者を受け入れる体制を充実させるとともに、急性期を脱した患者を回復期・慢性期等に逆紹介する体制を強化します。また、地域における早期の在宅復帰及び社会復帰に向けた医療介護提供体制の構築に努め、在宅患者の緊急時における対応を担い、後方支援や人材育成等により在宅医療、住民の健康づくりの強化においても公立病院としての役割・機能を果たします。</p>												
※経営強化プランの記載内容を記入													
機能分化・連携強化の取組	<p>企業団では、本院については高度急性期医療を担う基幹病院、分院については地域密着型医療及び二次救急を担う病院として位置付け、役割・機能の最適化と連携強化を進めてきました。分院建替え構想に基づく病床再編は、分院の建て替え時に本院の急性期病床の過剰分を分院の回復期病床へ移行することで、地域で不足する病床機能に対応することとする本院の高度急性期特化と分院の機能強化を図る重要な方策でしたが、現在は財政状況等により実施を見送らざるを得ない状況となっています。</p> <p>今後は、急性期治療後患者の転院待ちの状況や救急受入体制の逼迫状況など、現実の医療需要を踏まえつつ、病床再編を進め、医療圏内のみならず広域も含めて機能分化と連携強化のあり方について検討していきます。</p>												
※経営強化プランの記載内容を記入													
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・救急患者受入件数(ウォークイン含む)【本院】 令和8年度:10,000件以上、令和9年度:10,000件以上 ・手術件数【本院】 令和8年度:6,000件以上、令和9年度:6,000件以上 ・ハイリスク妊娠分娩受入件数【本院】 令和8年度:120件以上、令和9年度:120件以上 ・臨床研修医受入人数【本院】 令和8年度:32人、令和9年度:32人 ・クリニカルパス使用率【本院】 令和8年度:50%以上、令和9年度:50%以上 ・褥瘡発生率(※日本褥瘡学会の指標による)【本院】 令和8年度:1.2%未満、令和9年度:1.2%未満 ・症候性尿路感染症発生率(※日本病院会のQI指標による)【本院】 令和8年度:0.22%未満、令和9年度:0.22%未満 ・紹介率【本院】 令和8年度:75%以上、令和9年度:75%以上 ・逆紹介率【本院】 令和8年度:70%以上、令和9年度:70%以上 ・連携医療機関等との面談【本院】 令和8年度:52件以上、令和9年度:52件以上 ・入退院支援加算算定件数【本院】 令和8年度:7,200件以上、令和9年度:7,200件以上 												
※経営強化プランの記載内容を記入													
住民理解のための取組	<p>企業団が提供する医療についての住民の理解のために、広報誌やホームページへの掲載を用いて、患者の視点に立ったわかりやすい情報提供を行います。また、企業団の経営計画等については、企業団協議会議員全員協議会に報告するとともに、パブリックコメント等の方法で広く住民の意見を収集します。</p>												
※経営強化プランの記載内容を記入													

○協議・合意済の「具体的対応方針」に変更がある場合は、別添様式2にも記載ください。

○記載欄が不足する場合は、記載欄を拡大するか、必要に応じて別紙資料(任意)を添付ください。

公立病院経営強化プラン(当該病院の果たすべき役割・機能等)の概要

別添様式1

施設名	国保直営君津中央病院大佐和分院												
所在地	千葉県富津市千種新田710												
許可病床数(床)		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計						
	開設許可	36	0	0	0	0	36						
	使用許可	36	0	0	0	0	36						
機能別病床数(床)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計						
	R7.7.1時点※1	0	36	0	0	0	36						
	R_年見込み※2						0						
※1 令和7年度病床機能報告で報告した令和7年7月1日時点の機能別病床数を記載。 ※2 R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載													
2025年以降において担う役割		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	その他
	R7.7.1時点※1				○		○	○				○	
	R_年見込み※2												
その他の内訳及び補足等													
※1 令和7年7月1日現在の担っている役割を記載。 ※2 R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載。													
地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	地域住民に密着した質の高い医療サービスを提供するとともに、本院と連携し、医療圏で不足している二次救急医療の需要に対応することで、地域に必要な医療機関としての役割を果たしています。しかしながら、老朽化と狭隘化が著しいものの建替え構想は現時点で具体化に至っていません。今後の分院のあり方については、地域ニーズ、財政状況、人材確保の見通しを踏まえて総合的に検討する必要があります。												
※経営強化プランの記載内容を記入													
地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	地域に根差した良質な医療を提供するとともに君津医療圏南部の二次救急を担う拠点病院としての役割を担います。また、需要が見込まれる在宅医療については、訪問診療、訪問看護のみならず、在宅リハビリテーション等の地域他医療機関の提供が困難な医療を提供します。												
※経営強化プランの記載内容を記入													
機能分化・連携強化の取組	企業団では、本院については高度急性期医療を担う基幹病院、分院については地域密着型医療及び二次救急を担う病院として位置付け、役割・機能の最適化と連携強化を進めてきました。分院建替え構想に基づく病床再編は、分院の建て替え時に本院の急性期病床の過剰分を分院の回復期病床へ移行することで、地域で不足する病床機能に対応することとする本院の高度急性期特化と分院の機能強化を図る重要な方策でしたが、現在は財政状況等により実施を見送らざるを得ない状況となっています。												
※経営強化プランの記載内容を記入	今後は、急性期治療後患者の転院待ちの状況や救急受入体制の逼迫状況など、現実の医療需要を踏まえつつ、病床再編を進め、医療圏内のみならず広域も含めて機能分化と連携強化のあり方について検討していきます。												
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	【経営強化プランから抜粋】 ・救急患者受入件数(2次救急医療)【分院】 令和8年度:400件以上、令和9年度:400件以上 ・在宅患者訪問診療実施件数【分院】 令和8年度:500件以上、令和9年度:500件以上 ・在宅患者訪問看護実施件数【分院】 令和8年度:1,100件以上、令和9年度:1,100件以上 ・在宅患者訪問リハビリテーション数【分院】 令和8年度:2,300件以上、令和9年度:2,300件以上 【第7次2か年計画から抜粋】 ・紹介受入れ件数【分院】 令和8年度:700件以上、令和9年度:700件以上 ・入院患者満足度調査において「やや不満・不満」と回答した方の割合【分院】 令和8年度:2%未満、令和9年度:2%未満 ・外来患者満足度調査において「やや不満・不満」と回答した方の割合【分院】 令和8年度:2%未満、令和9年度:2%未満												
※経営強化プランの記載内容を記入													
住民理解のための取組	企業団が提供する医療についての住民の理解のために、広報誌やホームページへの掲載を用いて、患者の視点に立ったわかりやすい情報提供を行います。また、企業団の経営計画等については、企業団議会議員全員協議会に報告するとともに、パブリックコメント等の方法で広く住民の意見を収集します。												
※経営強化プランの記載内容を記入													

○協議・合意済の「具体的対応方針」に変更がある場合は、別添様式2にも記載ください。

○記載欄が不足する場合は、記載欄を拡大するか、必要に応じて別紙資料(任意)を添付ください。